学校番号	1202

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　「現代倫理　最新版　新訂版」（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などついて多面的・多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断する力をつける学習を行う。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方についての理解と思索を深めするとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その家庭や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	出席状況 発表・プレゼンテーションに対する意欲 提出課題への取り組み	出席状況 発表・プレゼンテーションの取り組み 提出課題への取り組み	発表・プレゼンテーションへの取り組み・工夫 提出課題への取り組み	出席状況 発表・プレゼンテーションに対する意欲 提出課題への取り組み

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	哲学と宗教	・ギリシア思想 ・キリスト教、イスラーム教、仏教の思想	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:哲学と宗教のあり方・成り立ちをとらえようとしている。 B:哲学者の思想・宗教の成立過程について考察している。 c:各経典内容の活用。 d:ギリシア哲学・宗教の知識獲得。	授業観察 発問評価 提出課題 定期考査
	現代社会への道程	・近代科学の方法について学ぶ。 ・民主社会と幸福について学ぶ。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:人間と社会の結びつきについて意欲的に学んでいる。 b:社会とはなにかについて考察。 c:社会契約諸資料の活用。 d:経験論・合理論、社会契約等の知識獲得。	授業観察 発問評価 提出課題 定期考査
2学期	自己実現と社会	・次の思想等について学ぶ。 カント、ヘーゲル、マルクス、キルケゴール	○	○	○	○	a:様々な思想家の考え方を知り、自己と結び付けている。 b:自己と関連付けての考察。 c:各思想家の理論の活用。 d:自己実現と関わる知識獲得。	授業観察 発問評価 提出課題 定期考査
	新しい時代への扉	・現代哲学の思想家たちの考えについて学ぶ。	○	○	○	○	a:現代の社会と人々のかかわりをとらえようとしている。 b:現代がどのようなものか考察している。 c:各思想家の理論活用 d:「現代」を理解するための知識獲得。	授業観察 発問評価 提出課題 定期考査
3学期	現代の諸課題と倫理	・次の諸問題について調べるなどの活動をしながら学習する。 生命倫理、環境倫理、報道倫理、異文化理解	○	○	○	○	a:身近な倫理的問題を自己と結び付けている。 b:現代の倫理的問題を社会状況と関連付けての考察。 c:新聞等の資料読み取り活用。 d:現代の倫理的問題を理解するための知識獲得。	授業観察 発問評価 提出課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料の活用　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。